

《冬休みは2学期の学習や生活を振り返り、一日一日を有意義なものにしていけるよう、よろしくお願いします》



新町小だより

Shinmachisho dayori



新町小 HP QR

令和5年12月25日
2学期末号
青梅市立新町小学校
校長 塚田 直樹

プラスの声かけで子供たちにエールを

副校長 加藤 大次郎

本日子供たち一人一人に配布された通知表「あゆみ」には、お子さんの2学期の学習への取組や学校生活の様子、成長面や課題面などが記載されています。御家庭でも冬休みの間に「あゆみ」を基に、お子さんと共に2学期を振り返っていただくとありがたいです。そしてできればその際の声かけは、どんな成績であっても、お子さんを励ましたりやる気をもたせたりするプラスの声かけをお願いします。

「よく頑張ったね。」「頑張れば必ずできるよ。」「期待しているよ。」「応援しているよ。」などプラスの声かけを浴びながら育つと、何事にも諦めずにチャレンジできる人になるそうです。逆に「どうしてできないの?」「何度言ったら分かるの?」「あまり期待していないけど…」などのマイナスの声かけや視線を浴び続けて育つと、自分を過小評価してしまう人になるそうです。人生の乗り越えるべき課題に直面した時にも「どうせ自分なんか」と努力することを放棄して諦めてしまいがちになるそうです。

子供たちは、保護者や教師など身近な大人たちが決めつけるように話したことを「自分はそうかも。」と受け入れてしまいます。たとえそのマイナスの声かけが大人たちの些細な冗談、ちょっとした愚痴だったとしても、知らず知らず子供の心には残り続け、課題に立ち向かう力やチャレンジ精神に悪影響を及ぼしてしまうそうです。(参考:漫画「ドラゴン桜」作・三田紀房)

得意なことや苦手なことは人それぞれ多かれ少なかれ誰にでもあります。また、学校の成績では表しきれないその人の素晴らしさもあります。冬休み中はぜひプラスの声かけを意識していただき、お子さんの良いところを見つけて大いに褒め、更なる意欲をもたせてほしいと思います。またお子さんを叱らなければならない場面もあると思います。そんな時は頭ごなしに叱ってしまいたくなる気持ちを抑え、改善すべき点についてお子さんとよく対話し、プラスの声かけで今後の目標や取組を決めるなど励ましていくことが重要です。そうすることでお子さんの自己肯定感やチャレンジ精神が保たれ、その後の成功体験も増えていきます。

また、プラスの声かけを心掛けていくことで、今まで以上に子供と良いコミュニケーションが図れるようになると思います。これはきっと大人同士のコミュニケーションにおいても同様です。プラスの声かけをみんなが続けていけば、幸福度アップのスパイラルが始まるはずです。より良い家庭、より良い学校、より良い社会にしていけるためにも、まずはプラスの声かけで子供たちにエールを送っていきましょう。

2学期中は学校の様々な教育活動に御理解・御協力いただき、ありがとうございました。3学期もよろしくをお願いします。良いお年をお迎えください。

第19回青梅市小・中学生主張大会

12月2日(土)、S&D たまぐーセンターにて「第19回青梅市小・中学生の主張大会」が行われました。新町小からは5年生の〇〇さんが出場して堂々と発表し、青梅市教育委員会賞を受賞しました。そのときの立派な主張内容を以下に紹介します。

ドナー登録について

青梅市立新町小学校 五年 〇〇〇

ぼくは、日本テレビの24時間テレビを見ていたときに「ドナー」について知りました。それまでは言葉は聞いたことがあったけれど、詳しいことは何も分かりませんでした。

ぼくは、その番組で、難病の拡張型心筋症と闘う赤ちゃんを見ました。拡張型心筋症は心臓の筋肉がペラペラに薄くなり、拡張して収縮力が低下する病気だと知りました。拡張型心筋症の唯一の治し方は、心臓移植でした。しかし、ここで問題となるのが、日本にはドナー数が100人前後しかおらず、日本での心臓移植が困難だということでした。日本全体で見てもわずか3パーセントの人しか移植を受けられていないのです。そのため赤ちゃんは、ドナー数の多いアメリカで心臓移植を受けることになりました。心臓移植のために募金を呼びかけ、最終調整を行っていました。しかし、渡米前に赤ちゃんの体調が悪化してしまい亡くなってしまいました。心臓移植のために集めた募金は、その後、同じ拡張型心筋症の赤ちゃんへと渡り、その赤ちゃんはアメリカで心臓移植に成功し、元気に生活できていると聞きました。

ぼくは、この話を受けて、今回見て知った話や、ドナーについて多くの人に知ってもらいたいと思いました。また、ぼく自身もドナー登録について考えたとき、移植をしないと助かることができないうちや子ども、大人がいるのであれば、ドナー登録をしたいと思いました。ただ、実際、「ドナー登録をしよう」と決意することは、「自分の臓器だから、大事にしたい」という思いもあるので、とても難しいことだと思います。それでも、難病を抱えながら大変な思いをして生活をしている人がいるということを知って、たくさんの人にもその人たちのことを知ってもらいたいと思いました。これからの生活の中で、ぼく自身も自分でできることを考えて、行動にうつしていきたいと思っています。

冬休み中の教職員の勤務について

冬休み中に学校から緊急でお知らせする必要がある場合には39メールを送信しますので、冬休み中にも39メールは確実に御確認ください。

また緊急で学校に連絡する場合(命にかかわるような事案等)の連絡先は以下の通りです。

12/26~12/28、 1/5 の期間 ⇒ 学校電話 (0428-31-0268)

12/29~ 1/ 5、 1/6~1/8 の期間 ⇒ 市役所電話(0428-22-1111)

基本的に、平日 16:45 以降、及び、土曜日・日曜日、祝日、学校閉庁日は、教職員は不在で応答専用留守電対応になります。

3学期当初の主な行事予定

1/ 9(火) 始業式 特別時程 午前授業 給食なし

1/10(水) 給食始 通常時程 午前授業

1/17(水) 道徳授業地区公開講座

2/ 3(土) 展覧会・学校公開

詳細については、
後日お知らせします。

冬休み中、健康や交通事故などには十分に注意するよう、御家庭でも声かけをお願いします。

3学期始業式に、みんな元気に登校してくれるのを楽しみにしています。